九州工科自動車専門学校沿革史

昭和２８年　３月　吉本富尾　学校創設のため設立準備委を設置し、熊本市本荘町６５７番地に土地６２５坪、建物１１２坪を賃借し、設立に備える。

同　　年　４月　「九州高等工科学校」を創立。設置者・校長として吉本富尾が就任し、教諭５名、実習指導員４名、講師若干名、事務１名、同助手１名をもって発足する。

同　　年１１月　熊本県知事より九州高等工科学校設立が認可される。

電波通信科	定員	５０名	修業年限２年
電気工科	〃	５０名	
自動車工科	〃	５０名	
研　究　科	〃	若干名	修業年限１年

昭和２９年　５月　学則変更（課程及び定員変更）

電波通信科	定員	５０名	修業年限２年
電気工科	〃	５０名	
自動車工科	〃	１００名	
研究科	〃	若干名	修業年限１年

同　　年１２月　定員の増加及び設備の充実を図るため、３教室を増設する。

昭和３０年　１月　学校敷地用として土地約６００坪を購入し、実習棟２棟、管理人用住宅を新築。

昭和３２年　４月　熊鞍事務長、副校長を兼任。

昭和３３年　１月　教育設備の充実を図るため、自動車整備実習場を増設。

同　　年　４月　広田勝彦　副校長に就任。

昭和３４年　３月　電波通信科を廃止する。

在学生は君ケ渕電波学校に移籍

同　　年　４月　広田勝彦　校長に就任し、吉本富尾は校主の職務に専念する。

昭和３８年　７月　学生の増加に備え、本荘町６６４番地に２階建４教室の校舎を新築。

昭和３９年　３月　広田勝彦　校長退任のため、吉本富尾　校長に就任。

同　　年　４月　九谷正保　副校長に就任。

同　　年１２月　熊本市戸島町に校舎敷地用として、土地約９,０００坪を購入。

（県道戸島線を挟み南側５,０００坪、北側４,０００坪）

昭和４０年　４月　宮原満弘　副校長に就任。

同　　年　５月　戸島町校地のうち南側５,０００坪に生徒用自動車運転練習場を設置、併せて２教室、管理人室及び住宅１棟を新築。

昭和４１年　３月　九谷正保　退職

同　　年　４月　科名変更及び修業年限変更による学則の変更を申請、認可される。

自動車工学科（旧自動車工科）	定員	１５０名	修業年限３年
電気科	〃	５０名	

昭和４１年　５月　熊本市戸島町に重量鉄骨による実習場約４５０㎡２棟を新築し、機械工具設備等の充実を図る。

昭和４１年１２月　運輸大臣より「第一種養成施設」校として指定を受ける。
昭和４２年　３月　学則変更（科名変更）
　自動車整備科（旧自動車工学科）　　定員　１５０名
　電気科　　〃　　５０名
昭和４４年１１月　校主（設置者）、校長吉本富尾勲五等双光旭日章を授与される。
昭和４６年　４月　学則変更（科の新設）
　機械溶接科　　定員　５０名　　修業年限３年
昭和４９年　３月　熊本市本荘町６５７番地に鉄筋コンクリート３階建教室、職員室、事務室、校長室を新築し、戸島町に普通教室及び管理人用住宅２棟を新築する。
同　　年　４月　宮原満弘　校長に就任
本校の所在地を、熊本市本荘町６５７番地に変更し、戸島町教室の名称を託麻校舎とする。
学則変更（定員変更）　　自動車整備科　　定員　１００名
同　　年１１月　本荘町６５３番地の校舎一部を解体、借地の一部を返還。
昭和５０年　４月　本荘町６５３番地の西側校舎全棟を解体、借地の半分を返還。
昭和５１年　７月　専修学校法に基づき、校名九州高等工科学校を九州工科高等専修学校と変更。
昭和５４年　３月　校主　吉本富尾　死去（昭和５４年３月１１日）。
同　　年　３月　校主（設置者）吉本富尾　正六位に叙せられる。
同　　年　４月　学則変更（科名変更）
　電気科を電気設備科に変更
同　　年１２月　設置者　吉本富尾　死去により、吉本伊成が設置者・校主となる。
学則変更（定員変更）
　自動車整備科　　定員　７５名
　機械溶接科　　〃　　１５名
　電気設備科　　〃　　１５名
昭和５５年　４月　加来栄吉　副校長に就任。
同　　年　６月　宮原満弘　校長退職に伴い、加来栄吉　が校長に就任。
昭和５６年　３月　戸島町にプレハブ普通教室１棟、職員室１棟、体育倉庫１棟を含む校舎を新築。
同　　年　３月　本荘町６５３番地の校舎全棟を解体、借地全部を返還。
同　　年　８月　専修学校法の改正により、専門課程設置の申請を熊本県に提出
自動車整備科　２ヶ年　　定員４０名(国土交通省許可３５名)
同　　年１２月　専修学校法に基づき専門課程の設置が認可される。
昭和５７年　３月　学則変更
　電気設備科・機械溶接科の募集を停止
同　　年　４月　専門課程の設置により、校名を「九州工科自動車専門学校」と変更。
同　　年１２月　託麻教室を専門課程の学生用に改築。
昭和５８年　４月　学則変更（科の新設）
　自動車装備科　　定員　１５名

昭和５９年　４月　学則変更（廃止）
　　電気設備科・機械溶接科　廃止
昭和６０年　４月　「国家公務員Ⅱ種試験」の受験資格が認められる。
同　　年１０月　昭和６１年３月以降の高等課程自動車整備科卒業者に大学入学資格が付与。
昭和６１年　３月　学則変更（廃止）
　　自動車装備科　廃止
同　　年　９月　田中慶博　副校長に就任。
同　　年１１月　加来栄吉　校長退職。
同　　年１２月　田中慶博　校長に就任。
昭和６２年　４月　本荘校舎グラウンドを全面舗装し、１２０台収容の駐輪場（屋根付）を設置。
昭和６３年　４月　制服制定、１年生よりブレザー着用。
平成　１年　３月　託麻旧職員室を解体、新たに新設。
平成　２年　４月　吉永時男　副校長に就任。
同　　年　７月　田中慶博　校長退職。
同　　年　８月　吉永時男　校長就任。
平成　３年　９月　台風１９号、本荘校舎２階建、実習場、託麻校舎プレハブ教室２棟破損被害大
　　同年３月～１１月託麻教室復旧工事のため、仮教室にて授業実施。
平成　４年　３月　本荘教室２階建及び実習場の復旧工事に着手。
同　　年　６月　松本和人　副校長就任。
同　　年　７月　吉永時男　校長退職、松本和人　校長就任。
同　　年１１月　創立４０周年記念式典（於本校）、祝賀会をニュースカイホテルにて挙行。
平成　５年　８月　託麻校舎実習棟２棟にオーバスライダーシャッターを設置。
平成　６年　３月　託麻校舎グラウンドに照明設備及びネットを設置し、体育教科の充実と各部活動
　　の練習、企業団体のスポーツ活動に資する。
同　　年　４月　事務長　篠原賢二　定年退職、後任　兼瀬紀弘　就任。
同　　年　８月　本荘校舎コンピューター１８台導入、情報化社会への対応と学習の向上に努める。
平成　７年　１月　文部省告示第８４号、専門課程卒業生に「工業専門士」称号付与。
平成　８年　７月　松本和人　校長退職。
同　　年　８月　校主　吉本伊成　校長就任、兼瀬紀弘　副校長就任。
平成　９年１１月　高等課程募集停止申請、熊本県私学文書課提出。
平成１０年　４月　平成１０年度高等課程の募集停止。
同　　年　６月　学校教育法等の一部改正法成立（平成１０年６月１２日公布、法律第１０１号）、
　　卒業年度を遡及して「大学編入学」が認められる。
同　　年　８月　学則変更（科新設）
　　自動車整備科１０月入学　　定員　２５名
平成１１年　１月　戸島町のテニスコート一部を㈱アイキャッチに売却。
同　　年　２月　公認会計士試験、不動産鑑定士試験の第一次試験免除が適用される。
　　（平成１１年４月より）

平成１１年１０月　吉本伊成　校長辞任。
同　　年１１月　副校長　兼瀬紀弘　校長就任。
平成１２年　３月　高等課程最後の卒業式（第４６回）を挙行。
同　　年　４月　教頭　緒方章二　副校長就任。
同　　年　９月　最新パソコン２１台、プロジェクター１台導入、情報化社会への対応と学習効果の一新を図る。
同　　年１１月　労働省委託、緊急雇用対策として未就職者へのパソコン講習開講。
同　　年１２月　平成１３年度より、社会保険労務士の受験が認められる。
（平成１２年１２月２５日労働省通達）
平成１３年　３月　託麻校舎、本荘校舎を統一、全教育機関を本荘校舎に集中、託麻校舎を取り壊す。
同　　年　３月　託麻校舎の土地一部を㈱コスモ、熊本マツダ自動車販売㈱へ売却。
同　　年　４月　学則変更（廃止）
自動車整備科１０月生　廃止
同　　年　６月　税理士法改正、税理士試験受験資格付与。
（平成１３年６月１日公布　平成１４年度より施行）
同　　年　７月　本荘校舎敷地に実習棟新築するため、既存２階建教室１棟を取り壊す。
同　　年　８月　実習棟新築工事着工。
同　　年　９月　実習棟（鉄骨造合金メッキ鋼板葺平家建４６２，２６㎡）完成、落成式を挙行
平成１４年　１月　高等課程廃止届け提出。
同　　年　４月　週５日制導入、但し第１、第３、第５土曜日は補習日とする。
職員の勤務体制は従来通りとする。
同　　年１１月　車両整備の高度化、実践化を図るため、熊本マツダ所有の実習工場を買い取り、即戦力としての養成・育成を目指す
（鉄骨造スレート葺２階建　１Ｆ３０９．４６㎡　２Ｆ２９０．０８㎡）
（軽量鉄骨造スレート亜鉛メッキ鋼板葺２階建
１Ｆ２．３５５㎡　２Ｆ１９８．４２㎡）
平成１５年　４月　情報化社会の進展に伴い、最新のソフト（ウインドウズＸＰ）導入、パソコン教育の充実化を図る。
同　　年　７月　戸島町（旧託麻校舎跡地）の賃貸借部分の一部、福岡スタンダード石油㈱に売却。
同　　年　８月　平成１３年９月完成の新実習棟にスポットエアコンを設置
同　　年１２月　創立５０周年記念式典及び祝賀会をメルパルク熊本にて挙行。
平成１７年　６月　学則変更（諸規則及び定員変更）　平成１７年度実施。
自動車整備科　　定員　４５名
平成１８年　３月　３階建本校舎外壁全面塗装
同　　年　４月　情報処理レベルアップのため、最新ソフト及び液晶タイプのパソコン２７台導入、学生・ＩＴ委託訓練生用として活用。
同　　年１０月　熊本県専門学校各種学校連合会体育大会において卓球・バトミントン優勝
同　　年１１月　九州圏内専門学校体育大会出場バトミントン３位入賞
平成１８年１２月　第２実習棟全面塗装

平成１９年　９月　熊本マツダ自動車販売㈱自主廃業
平成２１年　６月　学校法人吉田学園との売却について合意
熊本県私学審議委員会８月開催、６月２５日熊本県私学文書課へ設置者変更認可申請書提出
九州工科自動車専門学校校長兼瀬紀弘理事に就任
同　　年　７月　学校法人吉田学園と売却合意に基づき契約書交換（Ｈ２１．７．４）
同　　年　８月　同月１９日売却代金決済、同日所有権移転・抵当権抹消手続き申請、８月２０日登記完了、学校法人吉田学園となる。
同　　年　８月　九州工科自動車専門学校の運営継承に伴い、学校法人吉田学園の寄付行為変更申請（学校法人名変更を含む）を長崎県総務部学事文書課へ提出
同　　年　９月　学校法人吉田学園より学校法人九州総合学院と名称変更（Ｈ２１．９．７）
同　　年　９月　学校法人九州総合学院理事会開催
同　　年　９月　熊本県設置者変更申請認可（Ｈ２１．９．４）
同　　年１０月　第一種養成施設変更届（事業者変更・九州総合学院）提出（Ｈ２１．１０．２２）
平成２２年　１月　新校舎及び実習棟新築工事の建築請負契約を吉原建設㈱と締結（２６日）、同月２７日より旧実習棟解体着工
同　　年　２月　起工式（１０日）、新築工事着工
同　　年　４月　文部科学省「産学連携による実践型人材育成事業－専門人材の基盤的教育推進プログラム」公募に応募
６月文部科学省の研究拠点形成費補助金交付決定「電気自動車等の低公害車整備事業需要の拡大に対応した自動車整備士教育プログラムの研究と開発」に産学連携に取組む
同　　年　６月　新校舎・実習棟落成式挙行（６月２日新築、６月１日引渡し）
（１Ｆ実習場　２Ｆ教室　鉄骨造陸屋根２階建
１Ｆ　５５８，４０㎡　２Ｆ　４１７，４０㎡）
同　　年　６月　学校法人九州総合学院理事会開催
同　　年　７月　新校舎見学会及び新築祝賀会（７月９日）
平成２２年　８月　中央職業能力開発協会、緊急人材育成事業として基金訓練の認可を受け、「農業人材育成科」定員２０名にて開校。
平成２３年　３月　兼瀬紀弘　校長辞任、名誉校長就任・財務全般担当
文部科学省推進事業についての成果発表会実施
同　　年　４月　熊本県専門学校初の硬式野球部創設
副校長　緒方章二　校長就任、西　孝久　教頭就任
同　　年　４月　「農業人材育成科」定員２０名にて開校
同　　年　５月　入学定員増員のため学則変更（H23 年４月１日より実施）
自動車整備科　　定員５０名　総定員１００名
同　　年　６月　学校法人九州総合学院理事会開催
同　　年　６月　九州工科自動車専門学校校長　兼瀬紀弘　理事辞任、緒方章二　校長理事就任
同　　年　６月　熊本県委託「コミュニケーションスキル科」開講、定員２０名

平成２３年１０月　熊本県委託「ＯＡビジネス科」開講、定員２０名
平成２４年　１月　文部科学省「東日本大震災からの復旧・復興を担う専門人材育成支援事業」に応募認可、「被災地支援のための組込みシステムに精通したＥＶ車等整備人材育成」を研究課題とし産学連携に取り組む。
期間　平成２４年１月より３月末、３ヶ月間
成果発表会　平成２４年３月３１日　福島県郡山市にて実施
同　　年　２月「農業人材育成科」定員２０名にて開校
同　　年　３月　学校法人九州総合学院の主たる事務所を「長崎市葉山１丁目２８番３２号」より、「熊本市中央区本荘町６５７番地」に変更のため理事会開催（Ｈ２４，２，２８）
これに伴い、熊本県文書私学局私学振興課へ寄付行為変更認可申請書提出
平成２４年３月２８日認可　　平成２４年４月２４日登記完了
同　　年　４月　緒方章二校長退任、兼瀬紀弘名誉校長が校長、理事就任
熊本市政令指定都市移行による行政区設置のため学校所在地を「熊本市中央区本荘町６５７番地」と変更する旨学則を変更、熊本県に学則変更認可申請書提出（Ｈ２４，５，７）
同　　年　４月　硬式野球部日本野球連盟加入
硬式野球部へ野球特待及び推薦で８名の部員が入学
同　　年　５月　校長交代による第一種養成施設の代表者変更届提出
同　　年　５月　学生、教職員の情報処理レベルアップのためパソコン２１台入れ替え。
２・３Ｆ、ＯＡ教室活用として新設。
同　　年　５月　高度化、高速化に伴い事務処理能力アップのため光通信用新機種電話交換機導入
同　　年　５月　高齢化社会が進み介護資格等が必要、自動車整備業界も同様。その準備として、ホームヘルパー２級養成講座の事業者指定申請書を５月２５日に提出。６月１８日指定を受ける。　７月より講義開始
同　　年　６月　「公益財団法人実務技能検定協会」主催の各種能力検定試験の試験会場指定。
同　　年　７月　学校法人九州総合学院理事会開催
同　　年　８月　新実習棟、教室壁紙離脱及び実習場壁面雨漏りによる補修工事実施
同　　年１０月　求職者支援事業「農業人材育成科」定員１５名開講、委託訓練事業として「ＯＡ実務科」定員２０名で開講
同　　年１１月　九州ブロック体育大会 in 熊本
同　　年１２月　学校法人九州総合学院理事会・評議員会開催
平成２５年　３月　文科省「平成２４年度「東日本大震災からの復旧を担う専門人材支援事業」成果報告会実施
同　　年　３月　平成２５年度キックオフミーティング実施
創立６０周年記念事業の一環として地域対象のヘルパー２級講座開講
同　　年　４月　都市対抗野球熊本大会出場
同　　年　６月　「農業人材育成科」開講
同　　年　６月　学校法人九州総合学院理事会開催
同　　年　９月　創立６０周年記念式典挙行

平成２５年　９月　文科省「職業実践専門課程」説明会実施
同　　年　９月　西日本クラブカップ野球大会
同　　年　９月　①平成２５年度文科省「成長分野における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」「双方向性を持ち統合化されたグローバル専門人材育成システムの提言とプログラムの開発」についての計画書等推進会議
②「農業を中心とした新しいビジネスを創出・牽引する人材の育成」についての計画書等推進会議
同　　年１０月　沖縄県「学校法人アミークス国際学園・沖縄アミークスインターナショナル」校見学
同　　年１０月　本校平成２４年度「評価委員会」、平成２５年度「教育課程編成委員会」開催
同　　年１１月　創立６０周年記念同窓会開催
同　　年１１月　文科省「職業実践専門課程」申請書熊本県へ提出
全学年校外研修旅行（東京モーターショー）実施
同　　年１２月　学校法人九州総合学院理事会・評議員会開催
同　　年１２月　熊専各連「お仕事体験フェア」開催
平成２６年　１月　横浜インターナショナル見学
同　　年　２月　学校法人九州総合学院臨時理事会・評議員会開催
同　　年　２月　平成２５年度「評価委員会」「教育課程編成委員会」開催
同　　年　３月　文科省「農業を中心とした新しいビジネスを創出・牽引する人材の育成」についての成果報告会実施
同　　年　３月　平成２６年度「キックオフミーティング」開催
文科省「グローバル人材育成システム等」総合成果報告会
同　　年　３月　㈱スズキ自販熊本、実習用教材スズキワゴンアール１台（新車）寄贈
同　　年　３月　文科省、専修学校の専門課程を職業実践専門課程として認定される
告示（平成２６年３月３１日号外第７０号）
専修学校の専門課程における職業実践専門課程の認定に関する規程第二条の規定により専修学校の専門課程を認定した件（文部科学省告示第５９号）
同　　年　４月　兼瀬紀弘　校長退任（学院長就任）、中原勝宣　校長就任
同　　年　７月　文科省（Ｈ２６，７，１採択）　平成２６年度「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業を採択　熊本版「熊本県における実践的農業人材育成プログラムの開発と実施」について取り組む
同　　年　８月　鹿児島情報ビジネス専門学校、学校法人九州総合学院グループ加入
（Ｈ２６，８，１付）
同　　年１０月　文科省「教育訓練給付制度」指定講座の認定（Ｈ２６，１０，１）を受ける
平成２７年　４月　兼瀬紀弘学院長退任　顧問就任
同　　年　４月　辻　　隆　教頭就任
平成２８年　３月　中原勝宣　校長退任
同　　年　４月　九州総合学院理事　長川越宏樹　校長就任
同　　年 同 月　上妻史彦　副校長就任

同　　年 同 月　学則変更（新学科）
　　国際自動車科　　定員　２０名　修業年限３年
平成２９年　４月　学則変更（定員変更）
　　国際自動車科　　定員　２５名
平成３０年　３月　川越宏樹　校長退任
同　　年　４月　千綿伸洋　校長就任
平成３１年　１月　国際自動車科「専門士と称することができる専門学校の専門課程」として認定
　　告示（平成３１年１月２５日　号外第５１号）
同　　年　４月　学則変更（定員変更）
　　国際自動車科　　定員　３５名
令 和 元 年　６月　文科省事業委託事業「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」
　　若手自動車整備士の職場定着を支援する教育プログラムの開発と実証
同　　年　７月　「大学等就学支援法」
　　大学等における就学支援に関する法律第七条第一項の確認に係る申請　認可
同　　年　９月　千綿伸洋　退職
同　　年　９月　川越宏樹　校長就任
令 和 ２ 年　３月　出入国在留管理庁　登録支援機関　登録
同　　年　３月　川越宏樹　校長退任
同　　年　４月　岩村聡志　校長就任
同　　年　４月　コロナ禍により、遠隔授業、分散登校実施　伴いＩＣＴ機材の充実を図る
令 和 ３ 年　４月　ｅスポーツクラブ発足
同　　年　７月　ひぎんＳＤＧｓ私募債発行記念品贈呈式（穴吹興産）
　　スキャンツール４台　プリンター１台
同　　年　９月　文科省事業委託事業「専修学校留学生の学びの支援推進事業」
　　テクノロジー分野の留学生および留学希望者を対象とした教育及び就職の支援
　　モデル構築事業
同　　年　９月　３号館新築工事着工
令 和 ４ 年　１月　３号館完成
　　鉄筋造２階建１２４，２７㎡
同　　年　４月　学則変更（科設置）
　　スポーツ・ＩＴ科　　定員　　２０名　修業年限２年
同　　年　５月　道路運送車両法七十八条第一項「自動車特定整備事業」認定
　　九州運輸局　認証番号４-７０９号
同　　年１０月　熊本ダイハツ販売㈱　ダイハツ工業㈱より、実習用教材寄贈式
　　エンジン６台（スタンド付き）
令 和 ５ 年　３月　日産自動車㈱　熊本日産自動車㈱　日産プリンス熊本販売㈱より
　　教材車エクストレイル５年間無償貸与
令 和 ５ 年　４月　学則変更（入学金）